

寒河江市教育委員会会議録

平成31年2月21日 開会

寒河江市教育委員会

平成31年2月21日（木曜日） 寒河江市教育委員会

○ 出席委員（4名）

教育長 軽部 賢 委員 鈴木 淳一 委員 國井 晴彦
委員 高橋 まり子 委員 鈴木 多鶴子

○ 欠席委員（0名）

○ 事務局職員の職氏名

学校教育課指導推進室長 山口 義博 学校教育課課長補佐 白田 純一
生涯学習課長 高林 雅彦 スポーツ振興室長 鈴木 隆

○ 委員会日程

教育委員会日程

平成31年2月21日（木曜日）

午後2時30分 開議

市役所 401会議室

1 開会

2 議事録承認

3 教育長報告

4 議事

議第1号 平成30年度教育費補正予算案に対する意見の申出について

議第2号 平成31年度教育費予算案に対する意見の申出について

5 閉会

会議に付した事件

教育委員会日程に同じ

1 開 会 午後2時30分

○軽部 賢教育長

ただいまから教育委員会を始めます。

2 議事録の承認

○軽部 賢教育長

初めに前回1月25日の会議録の承認についてお願いします。

(前回会議録を回覧の上、全出席委員が署名を行った。)

3 教育長報告

○軽部 賢教育長

次に教育長報告になりますが、前回委員会1月25日以降の主な行事について申しあげます。

1月26日、こころの宿一龍で開催された、佐藤明信氏全国スポーツ推進委員連合30年勤続及び那須良弘氏東北地区スポーツ推進委員功労者表彰受賞を祝う会に出席し、来賓祝辞を申し上げました。

1月27日、文化センターで開催された寒河江さくらんぼ大学地域マイスター養成講演会で、さくらんぼ大学学長としての挨拶を行い、その後、東北リレーションシップ代表の多田祐也氏による「心のマイスター養成講座」で『ぶらいんど れすとらん』の体験を受講者の皆様と一緒に体験しました。

1月29日、西村山校長会長の寒河江小学校山田健二校長と面会し、次年度の西村地区学校保健研究会の持ち方について意見交換を行いました。年々、発表者が減っていることが課題となっており、このことについてどうしたらよいか意見交換を行いました。

1月30日午前中、安達財政課長と平成31年度当初予算について意見交換をしました。人口の自然動態増加を目指して、企画創成課で立案した小中学生のライフデザインセミナーについて、教育長の意見を求められたので、寒河江の目玉にもなるので、強力に進めてほしいと要望しました。

午後1時から西村山地域振興局で開催された、県教育委員会教育委員と村山地区14市町教育委員会教育長との村山地区教育懇談会に出席しました。澁江学美教育次長の座長で、各市町の郷土愛を育むための実践について意見交換を行いました。

その後、午後3時から管内教育長会議があり、教育事務所の各課長より今年度の事業についての報告がありました。

1月31日午前中、山形県学校給食会・小林正次理事長と面会し、次年度の米飯給食について、りょうこくから別業者が担当する旨の説明がありました。

午後1時30分から、寒河江市中央公民館で、西村山地区学校保健会臨時常任理事会が開催され、次年度の西村山学校保健研究会について、形を変えて継続していくことを確認

しました。また、寒河江西村山医師会と学校現場の相互理解を深める機会を多く持ちたいという認識も確認されました。

午後3時から、文化センターで、トイレ改修工事入札に臨みました。

2月1日午前9時から南部小学校給湯器工事入札に臨みました。

午前11時から、平成31年度当初予算に係り、校務支援ソフトの導入について市長から意見を求められたので、意見交換を行いました。

午後4時から、やまがた雪フェスティバル・オープニングセレモニーに出席しました。

その後夕方、寒河江市校長会懇親会に出席しました。

2月2日、チェリーナさがえで開催中の木育フェアを見学しました。積み木やKAPLAなど、親子で楽しむ様子を見ることができました。学校教育課では、食育フェアの一環として、ユッケジャンクッパのふるまいなべを提供させていただきました。

2月3日、寒河江市美術館でこの日から開催されるアートツリーやまがたのオープニングセレモニーに出席し、来賓挨拶を行いました。引き続き行われたギャラリートークにも出席させていただきました。障がいを持つ作家さんの感性の鋭さ、想像力の豊かさ、オリジナリティーある創造力を強く感じました。

2月4日、陵東中学校長を訪問し、人事についての相談や部活動ガイドラインについての意見交換を行いました。

2月5日午前中、白岩小6年生と東京外国語大学との交流授業があり、参観させていただきました。子どもたちは、留学生6名と大学生3名と英語を使いながら楽しそうにコミュニケーションしていました。

午後5時から教育事務所を訪問し、江川久美子所長と人事についての話し合いを行いました。

2月6日午前9時から、共産党市議会議員と面会し、市民へのアンケート、日本共産党が作成したパンフをもとに、教員の働き方改革や、中学生の地域参加、奨学金制度などについて意見交換を行いました。

午前10時45分からは、ぬくもりの里しらいわ代表の水谷悟氏と面会しました。「心の教育」ぬくもりの里しらいわの事業は、平成6年度、県の補助事業として始まったものですが、所期の目的は達成したということで、平成30年度をもって終了するとのことでした。

午後2時から、文化センターで開催されたいじめ問題対策連絡協議会に出席しました。今回は情報機器によるいじめ問題についての研修と意見交換を行いました。

2月7日午前11時から、ボーイスカウト寒河江第1団が訪問され、大沼保義様、鈴木一作様、安孫子一彦様、奥山吉一様が来られ、次年度の新しい体制について懇談しました。

午前11時40分からは、陵南中学校長を訪問し、次年度の人事について情報交換を行いました。

午後から、寒河江小学校で開催された第2回寒河江市理科センター所員会議に出席し、

教育長挨拶を行いました。今年度の振り返りと次年度の計画について話し合いが行われました。

2月8日午後1時15分から、山形縣市町村教育委員会協議会教育長会総会が山形市役所で開催され、出席しました。総会では主に、協議会からの要望に対する県教育委員会からの回答の説明がなされました。その後、山形県医師会との懇談、情報交換があり、中目会長から、学校教職員のメンタルヘルスの支援体制について、市町村教育委員会と地区医師会が連携して進めていきたいという前向きなお話がありました。引き続き、県教育委員会との懇談会がありました。その中で、生涯学習振興室長が放課後子ども教室の予算減額について理解を求めましたが、再検討を強く要望する教育委員会もありました。

午後4時から、南部小学校会場の市校長会定例会議に出席しました。平成31年度の当初予算の方向性についてお話させていただきました。

午後5時20分、市PTA連合会教育研修会がホテルサンチェリーで行われ、福寿園代表取締役社長 福井正興氏の講話をお聞きしました。ユーモアを交えながら福寿園の魅力や経営戦略を分かりやすくお話してくださいました。その後、懇親会が行われました。

2月11日、文化センターで開催された市公民館大会に出席しました。

2月12日午前9時から、市長室で週間ミーティングに引き続き開催された市政調整会議に出席し、平成31年度のイベント関係の日程調整、内容の検討を行いました。

午前11時から、学校教育課・生涯学習課の課長補佐級とのジョイント・ミーティングを開き、各課の日程確認等を行いました。

午後から、村山教育事務所、江川久美子所長、那須隆秀管理主幹が来られ、管理職人事についての話し合いを行いました。

2月13日午前中、荒木元教育長と面談、高額医療事務の事案等について意見交換を行いました。

午後から、白岩小学校6年生の総合的な学習における国際理解教室を参観させていただきました。中国人とイギリス人の県の国際交流員との交流授業でした。それぞれの国の説明に、子ども達は興味深く聞き入っていました。

2月14日午前中、寒河江小学校山田校長と面談し、特別支援学級の在籍異動等について話し合いを行いました。

午後から、西村山地域振興局で開催された西村山学校保健大会に出席しました。学校保健功労者として陵西中学校・学校歯科医の白田牧子氏、西村山地区学校保健功労者として陵南中学校・学校医の三浦民夫氏、西村山地区よい歯の学校表彰優良校として幸生小学校、南部小学校が表彰されました。その後、西根小学校渡邊浩美栄養教諭が「『6分の1の挑戦』興味と意欲、そして感心」と題して、話題提供をしてくださいました。講演では、嶋北内科脳神経外科クリニック医師の佐藤篤氏が「小児・思春期の頭痛診療の実際」と題してお話してくださいました。

午後4時から、教育事務所を訪問し、管理主事と人事に関する情報交換を行いました。

2月15日午前中、ギャラリー&カフェあるあーるで、2月4日から開催されている「アートツリーやまがた」サテライト展示として開催中の「ぎやらりーら・ら・ら in あるあーる」を鑑賞しました。

午後から、教育事務所を訪問、人事についての相談を行いました。

夕方、副市長とスポーツ振興室を課にすることについて打合せを行いました。

2月16日午前9時から、ハートフルセンターで開催された、寒河江市体育協会表彰式に出席しました。87の団体、個人に遠藤体育協会長より表彰状が授与されました。

午前10時30分から、表彰式に引き続き、寒河江市スポーツ講演会が開催され、前トヨタ自動車野球部監督桑原大輔氏が「野球選手から監督まで」と題して講演がありました。中学生や高校生からもアスリートとしての心がまえや体づくりについて質問が出され、桑原氏も丁寧に答えてくださいました。

2月18日午前10時30分から議会会議室において、市議会全員協議会が開催され、市長より行動計画の説明と平成31年度当初予算の内示がなされました。

午前11時30分、副市長と議長、副議長を訪問し、スポーツ推進室を課に編制することについての説明を行いました。本日21日に議員運営委員会の後に各会派の代表に説明し、それを受けて全議員にメールにて説明をしております。

午後1時30分、元県教育次長で山形大学教職大学院中井義時教授が見えられ、教職大学院修了生である阿部高典指導主事の激励をしていただきました。

2月19日午前中、議会会議室で開催された寒河江市防災会議に出席しました。国土交通省気象台、村山保健所、村山総合支庁、寒河江警察署、西村山消防本部など関係者が出席し、「寒河江市地域防災計画」の修正箇所の検討を行いました。

午後から、市立図書館で市教育研究所運営委員会があり、校長全員が一堂に会する会議であったため、年度末の公文書等の取扱いについて注意喚気を行いました。

2月20日午前中、年度末の教職員人事校長面談を行いました。この日は、西根小、醍醐小、幸生小、三泉小、陵西中、陵東中、陵南中、高松小校長と行いました。

午後から、寒河江ロータリークラブの小松栄一ガバナー補佐と面会しました。3月31日開催予定のインターシティミーティングへの市教育委員会の後援依頼がありました。また、労働安全衛生法に基づく市内小中学校職員に対する面接指導等実施要綱についても意見交換を行いました。

本日2月21日、教職員人事校長面談を寒河江小、柴橋小、白岩小、南部小校長と行いました。

報告は以上になります。質問等ございましたらお願いいたします。

○鈴木多鶴子委員

詳しい説明ありがとうございました。2月14日の特別支援学級の在籍異動等について、もう少し詳しい説明をお願いいたします。

○軽部 賢教育長

医療機関へ通院されている6年生の普通学級に在籍する子どもさんが、中学校への進学にあたって、情緒又は病弱の特別支援学級の在籍が適切ではないかという助言があり、校長先生がいらっしゃってそのことについて相談がありました。もう少し医療的な精査、医療機関の診断を元に精査する必要があるのではないかということで、もう一度、親御さんを通して、もう少し診断なり、治療経過なり、これまでの経過がどうだったか等の資料が必要ではないかということをお願いしました。教育事務所にもお話していますが、特別支援学級の新設については、かつては、市教育委員会が県の教育委員会と協議をして同意をしたら認めるということになっていましたが、現在の制度としては、届出制になっています。ですからある程度、市町村教育委員会の主体性が認められていると思いますが、今年度1カ月もないこの時期に新設というのは妥当かどうかということをもう少し精査する必要があるだろうという指導を県の教育委員会からいただいております。新しく学級を作るとなると、教員を配置しなければいけない。そうするとそれは予算を伴うわけで、予算は現在、内示の段階になっているので、この段階では難しいので、例えば来年1年間は様子を見るとか、特別支援学級に在籍させて様子を見て、必要であれば病弱になるのか情緒になるのかという判断をしてもいいのではないかという指導でありました。ということで今はお医者さんと親御さんの意思を再度確認しているというところです。

○鈴木多鶴子委員

わかりました。ありがとうございます。

○軽部 賢教育長

ほかにございませんか。

4. 議事

○軽部 賢教育長

それではこれより議事に入ります。

まず最初に議第1号平成30年度教育費補正予算案に対する意見の申出について、これを議題といたします。事務局より説明をお願いします。

○白田純一学校教育課課長補佐

議第1号平成30年度教育費補正予算案に対する意見の申出について、ご説明申し上げます。

これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、3月の定例議会に提出予定の平成30年度教育費補正予算案について市長から意見を求められたこ

とに伴うものです。

内容につきましては学校教育課分となります。2ページをご覧ください。

繰越明許費、10款教育費、2項小学校費、小学校管理事業について、エアコン設置工事が平成30年度での完了が困難なため、平成31年度に2億5,871万3千円繰越すものです。

同様に、3項中学校費、中学校管理事業について、エアコン設置工事が平成30年度での完了が困難なため、平成31年度に4,014万1千円を繰越すものです。

続きまして、1の歳出、10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費、小学校管理事業について、ご説明いたします。

補正前の額が、7億7,350万6千円、今回の補正額が281万円で、補正後の合計額は7億7,631万6千円となるものです。

これは、電気使用量の増加、プール期間中の水の入れ替えなどにより、電気料、水道料の不足が見込まれることから、11節需用費の光熱水費に281万円を計上するものです。

3ページをご覧ください。10款教育費、3項中学校費、2目学校保健費、学校給食事業について、ご説明いたします。

補正前の額は、1億9,805万円2千円、今回補正額は、50万円で、補正後の合計額は、1億9,855万2千円となるものです。障がい者雇用枠の短時間雇用職員の雇用により、賃金に不足が生じたため、7節賃金に50万円を計上するものです。

以上、よろしく願いいたします。

○軽部 賢教育長

補正予算案について説明ありましたが、質疑、意見等についてお願いいたします。

ございますせんか。なければ採決したいと思います。

議第1号平成30年度教育費補正予算案に対する意見の申出について、を原案のとおり決定することにご異議はありませんか。

(一同、異議がない旨の返答)

では異議なしということで、議第1号は、原案のとおり決定いたしました。

○軽部 賢教育長

続きまして、議第2号平成31年度教育費予算案に対する意見の申出について、を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

○白田純一学校教育課課長補佐

議第2号平成31年度教育費予算案に対する意見の申出について、をご説明申し上げます。

4ページをお開きください。

これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、3月の定例議会に提出予定の平成31年度教育費予算案について、市長より意見を求められたことによるものです。

議案の教育費予算案で示させていただいておりますが、かなりの分量がございますので、別紙資料の議第2号議案関係、平成31年度主要事業の概要、で事業ごとに事業内容や予算内訳をまとめておりますので、こちらで説明させていただきます。

この資料もかなりの量がありますので、この中でも主なものをご説明申し上げますのでよろしくお願いいたします。

資料の1ページをご覧ください。

学力向上支援員派遣事業の3,224万円ですが、これは児童生徒の確かな学力向上をめざし、学習指導や学習支援を行う支援員の充実、通級学級における特別に支援が必要な児童生徒をサポートする特別支援教育補助員を新たに配置するものであります。

特色のある学校づくり推進事業の420万円ですが、こちらは伝統や地域性、児童の実態や願いを活かした特色ある教育活動を通して、ふるさとを愛する心や健やかな心と体、職業観等を育てる事業に補助金を交付するものです。

2ページをご覧ください。

学力向上推進事業の733万5千円ですが、Q-Uと言われる学級集団実態調査、NRTと言われる学力調査、知能検査等の実施によって児童生徒の確かな学力を育成する事業と、小学校5年生から中学校3年生までの全クラスで新聞を購読し授業で活用することで学力向上を図る事業の予算であります。

英語力育成事業の780万4千円ですが、3名のALT、外国語指導助手を各小中学校に派遣するとともに、3名のAET、日本人英語講師を雇用し、各小学校に派遣し、外国語活動や英語学習を充実させ、児童生徒の生きた英語学習や国際理解教育の充実を図るものです。

外国人子女等対策事業の163万5千円は、基本的な日常会話能力が不足している外国人子女等が在籍する学校に対して、母国語を話せる支援者を派遣するものです。

3ページをご覧ください。

さがえっこ育み推進事業の679万2千円ですが、さがえっこ育み10か条を啓発し、社会全体で子どもの学力向上や基本的な生活習慣の確立、家庭や地域の教育力の向上を図るため、学校・家庭・地域の連携・協働を推進します。その中で、中学校には地域コーディネーターを配置します。

また、各中学校に部活動指導員を配置し、部活動担当教員の業務支援と部活動の資質向上を図るものです。

小中学校ICT活用支援事業の1,230万円ですが、ICTの効率的な活用と校務処理の効率化を図るため、校務支援ソフトの導入と、支援員が小中学校を訪問し授業や校務全般の支援を行います。

さがえっこライフデザインセミナー事業の100万円ですが、未来の寒河江を担うさがえっこに、市内各界で活躍している方の講話等により結婚観や職業観の大切さについて、保護者の参加も促しながら意識啓発を図るものです。

4ページをご覧ください。

小学校管理事業の1億5,702万2千円ですが、市内小学校の維持管理等に係る経費が主なものであります。

ICT整備推進事業の3,595万3千円ですが、各小学校6年生1クラス分のタブレットパソコン賃借料、パソコン賃借料や電子黒板賃借料が主なものです。

5ページをご覧ください。

体育文化活動支援事業の318万3千円ですが、文化関係大会の参加補助金が主なもので、補助率は10割となります。

中学校管理事業の6,330万5千円ですが、市内中学校の維持管理等に係る経費が主なものであります。

学校給食事業の1億9,124万2千円ですが、民設民営のセンター方式での完全給食の実施が主なものです。給食費の半額助成を行ってまいります。

ICT整備推進事業の1,421万3千円ですが、パソコン賃借料や電子黒板賃借料が主なものです。

6ページをご覧ください。

体育文化活動支援事業の629万2千円ですが、体育・文化関係大会の参加補助金が主なもので、補助率は10割となります。

概略の説明でありましたが後ほど質問があれば詳細についてお答えしたいと思います。

以上、学校教育課分を終わります。

○高林雅彦生涯学習課長

続きまして、生涯学習課分についてご説明申し上げます。

主な事業や変更点等について、ご説明いたします。

7ページをご覧ください。

事業名で4つ目、公民館整備事業354万7千円ですが、地区公民館分館整備に対する補助金であります。平成28年度からエアコンやLED等の整備メニューを追加し、平成31年度は5分館の工事を予定しています。平成30年度は、12分館で事業を行っており、事業の要望が減ってきているため減額となったものです。

1つとんで、文化センター整備事業2,470万円ですが、非常照明用の蓄電池が耐用年数を経過し、劣化が進んでいるため更新するなど、施設の老朽化に伴う更新工

事等であります。

8ページをご覧ください。

芸術文化振興事業1,597万3千円ですが、来年度の慈恩寺コンサートはジャズトランペッターの日野皓正さんの出演を予定しています。他に幼児演劇教室、演劇等の文化公演、更に好評でありました若者向けのコンサートの継続開催を予定しています。

次の、美術館運営事業607万8千円ですが、本市出身で国際的にも知られた写真家鬼海弘雄さんの写真展を4月末から約2ヶ月間開催する計画であります。

次の、公民館管理運営事業4億2,782万9千円ですが、柴橋地区公民館の屋内運動場等の改築工事であります、柴橋地区多世代交流センター建築工事に係る費用が大きく占めるものとなっております。

寒河江さくらんぼ大学推進事業300万1千円ですが、通常の学部を6学部、慈恩寺に関する大学院を設け、開講講座では有名な方をお呼びしたいと考えており、現在人選中です。

9ページをご覧ください。

2つ目の読書普及事業264万円ですが、②の読書講演会には、今年度呼ぶことができませんでした俳優の室井滋さんをお呼びして、トークショー等を開催する計画です。

中ほどの、市史編纂事業931万7千円ですが、市史資料編「慈恩寺最上院日記」及び市史資料所在目録の発刊を予定しています。

次の、文化財保護庶務事業106万5千円ですが、本市の文化財の保存・活用に関する総合的な計画を策定するための歴史文化振興検討委員会の開催等に係るものであります。

10ページをご覧ください。

3つ目の、史跡慈恩寺旧境内整備事業については、来年度から慈恩寺振興課の予算計上となりましたので、こちらの予算からはなくなっています。ガイダンス施設の実施設費や建設場所の用地費等が予算化されているということでございます。

次の、文化財保存活用事業655万6千円ですが、白岩の種蒔ザクラの前の空き家の解体、整地が現在行われていますが、来年度は環境整備として駐車場等の整備を行うものです。また、元町にある昔、紅花が取引された花買場というところがありますが、そこを整備するため、その場所を分筆登記し、所有者から市に寄附してもらい来年度以降、整備する予定であります。

11ページをご覧ください。

社会体育施設管理運営事業6,007万円ですが、市民体育館等の指定管理者が来年度から一般財団法人寒河江市体育振興公社から一般社団法人寒河江市体育協会に変更になるものです。屋内多目的運動場は、株式会社ヤマコーのままとなります。

1つとんで、地域スポーツ活性化推進事業2、166万1千円ですが、さくらんぼマラソンのコースをチェリーナスタートから市民体育館前スタートで市街地を走るコースに変更するものです。また、スポーツイベントと観光分野の取組を一体的に進める「スポーツツーリズム」を推進していくもので、新たに負担金として計上したところでございます。

以上、よろしく申し上げます。

○軽部 賢教育長

ただ今説明ございましたが、皆様の方から質問、意見等あれば申し上げます。

○鈴木多鶴子委員

1ページの学力向上支援員配置が人数的に増えているかと思いますが、今年度と比べ何名増えているのでしょうか。

○山口義博指導推進室長

今年度と同様に19名の配置を考えておりますが、予算額が増えているのは特別支援教育補助員を新たに配置することになりましたので、その分が増えているということです。また、学力向上支援員の人数は同じですが、賃金の1時間当たり単価が上がりましたので、学力向上支援員の賃金が上がっております。ただ、勤務時間や扶養控除に係る収入等の関係などによって、人によっては賃金が下がるという方もおり、現在、個々に調整をしている状況です。

○鈴木多鶴子委員

特別支援教育補助員という方が新たに配置されるということによいのでしょうか。

○山口義博指導推進室長

はい、そういうことになります。

○軽部 賢教育長

総合教育会議でも特別支援教育について委員の皆様方からお話をいただきましたし、校長会でも各学校の課題ということで、市長とも年に一回懇談がありますが、その中で特別支援教育の実態などもお話ししていただいたということもあり、御理解いただいたのかなと思っております。

○高橋まり子委員

1ページの一番下にある特色ある学校づくり推進事業なのですが、これは市内の学校

に等分に配分されているものなのか、特定の学校に限っての特別な事業に対してのものなのかどちらなのでしょう。

○山口義博指導推進室長

これは例年どおり、各学校に配分されているもので、各学校の方で特色ある学校づくりを推進していくために、豊かな心と健やかな体づくりを育むものとふるさと学習を合わせて特色ある学校づくり推進事業ということで予算を配分するというごさいます。

○高橋まり子委員

どこの学校にも予算が配分されるということなのですね。それに合わせての質問ですが、先ほど教育長の報告にもありました白岩の6年生の英語関係で、東京外語大の学生の交流と、中国人、イギリス人との国際交流事業があったとありましたが、これは何か今回の特色ある学校づくり推進事業などの補助を使っている事業なのでしょう。

○軽部 賢教育長

この事業に補助が使われているかどうかは、白岩小学校に聞かないとちょっとわかりません。

○山口義博指導推進室長

もしかすると補助が使われている可能性もありますが、今言った国際理解事業等が学校で自由に使えるこの枠から出ていくということもできますが、そこは確認しないとわかりません。

○軽部 賢教育長

白岩小の東京外国語大学との交流は、寒河江市と東京外大で連携して行う事業で外大の学生に市の取組を知ってもらい、それを自分の国に帰ったときにそれを発信してもらう等という事業をやっておりますが、県と寒河江市と外大と協定を結んで、その一環として留学生の方々が Tassho に来て見学した時に、地元の議員さんが小学生とも交流させたものだとして白岩小校長に提案し、実現したと聞いています。

内容としては留学生が、グループ分けされた子ども達の中に入って、子ども達に英語で自己紹介したりする等といった取組のようでした。

国際交流事業につきましては、県の観光課に中国人とイギリス人の国際交流員がいるのですが、白岩小6年の担任の先生が今までもそういう取組をしてやり取りがあり、総合的な学習の時間に来てくれないかとお願いをしたところ、快く引き受けてくれたということのようです。

○高橋まり子委員

では、たまたま2月に白岩小の6年生に英語に関する特別な事業があったということなのですね。

○軽部 賢教育長

国際交流の方は私が見たのは中国の食生活などをパワーポイントで説明し、子ども達が質問したりして、異文化理解といったような授業でした。そこは担任の先生がこれまでの蓄積の中で、こういうところに話すると国際交流員の方が来てくれて授業してくれるということを知っていたので、アポを取りその日に来てくれたということだと思います。

先ほどの特色ある学校づくり推進事業ですが、ベンチャーマインドの事業がありますがこれは高松小学校に県事業として今年度から120万円の事業が3年間入ります。米を作ったり、谷沢梅とか作ってチェリーランドで出すなどそういった一連の事業を小学生時代から産業を起すあるいは地元の産業に興味を持つ等、幼いころから地元のために頑張ってみようという意識を植え付けるための事業であって、今年度は1万円ずつの事業費で地元の方を呼んでの講話を高松小以外の小学校9校で行い、高松小は120万円の事業を行う予定です。高松小のような事業は平成30年度から3か年の県の事業であり、金山小学校と真室川あさひ小学校と高松小の県内3校だけとなります。

○國井晴彦委員

4ページICT整備事業ですが、タブレットパソコンが今回初めて入っていると思いますが、今まで学校訪問した時に電子黒板とか色々なICT機器はそんなに目立った活用は見受けられなかったようですが、そこにタブレットがくるということで、これをしっかり活用して効果的な授業をできるような先生方に対する研修の予算は組んであるのでしょうか。タブレットを配ってさえいけば子ども達への効果が上がるというものではないと思うのですが。

○山口義博指導推進室長

國井委員がおっしゃられたような研修のための予算はとっておりません。タブレットパソコンについては、文科省の方でもICT推進事業の方で整備しなくてはいけないということもありますし、ハードの方が先行している形になっておりますが、導入したからには活用しなくてはいけないということで、今回は各学校とも1クラスの最大の人數分を導入していきますが、今まで電子黒板も入れてありますので、使っていただかなくてはいけないということを委員会としても強く推進していかなければいけないと思っております。ただ先生方の研修につきましてはこれから検討させていただいて、タブレット導入にあたってはICTの支援員も入ることになっておりますので、連携しながら授業に活用していただくことを考えております。

○國井晴彦委員

民間予備校などの方が進んでいるようですが、使われないでどこかに置いてあるという状況にはならないようにしてもらいたいと思います。

○山口義博指導推進室長

再来年度に小学校の教科書が変わりますが、その時にデジタル教科書、デジタル教材、デジタルコンテンツなどをクラウドから引っ張ってきて授業をしていただくようなことを校長会あたりでは話をしてありますので、来年度にタブレットは導入しておいて、移行期間ともなる来年度からどんどん使っていただいて、再来年度の教科書が変わるときには、なお一層活用していただけるようにと考えております。

○鈴木淳一委員

メイン事業の一つかと思いますがさがえっこライフデザインセミナー事業についても少し詳しくお聞きしたいのですが。

○山口義博指導推進室長

100万円の予算がついておりますが、義務教育段階のうちから将来の自分のライフデザインが描けるように、講師として各界で活躍されている方、著名な方や地域の方をお呼びしたりして、将来的に地元寒河江に戻ってきて生活をしていてもらいたいというようなことや、将来に夢を描いていけるような話をさせていただいたり、そういった講演を中心にセミナーを考えているところです。

○鈴木淳一委員

この事業は小学校向け、中学校向けとそれぞれ分けて事業を行うのですか。あるいは13校それぞれで行ったりするのでしょうか。

○軽部 賢教育長

これは学校ごとにやることもあるだろうし、あるいはさがえっこフォーラムのようところで、市全体を対象にということもあると思いますが、詳細についてはこれから検討させていただきたいと思います。

これまでだとライフデザインセミナー、いわゆる将来の家庭像、あるいはそういったものの夢を描いてそうやって家庭を築いて、そうやって子どもを産み、育てていくというような意識についての事業は高等学校あたりでやっているようです。寒河江市の喫緊の課題としては、交流人口は多いが、自然増が少ないわけです。亡くなる方よりも生まれてくる方が少ないので、いのちのたて糸のようなものをつないでいくようなこと、それから寒

河江にもっといいところがあるよとか、もっといい職場があって寒河江に住んで活躍するという意識を小中学校の時代から持ってもらい、また親にも意識してもらって、寒河江市を活性化して行って、地元に残って盛り立ててくれるようなそういうことを子ども達に意識付けていこうということで講話をしたりするなど、取り組んでいこうというものであります。

○鈴木多鶴子委員

主催は教育委員会学校教育課であります、対象は子どもなのか親なのでしょうか。

○軽部 賢教育長

もちろん子供は対象にしなくてはと考えています。親も一緒に聞いてもらうということもあるだろうし、PTAの母親委員会などでということもあるだろうし、やり方はいろいろあるだろうと思います。そこはいろいろ指導主事の方で検討してまいります。

○鈴木多鶴子委員

事業の進め方なども教育委員会で意見を出せばいいのかなと思います。こんな方法があります、とか。

○軽部 賢教育長

こういう方をお話していただくといい等と教えていただくとありがたいです。今、指導主事の方でもいろいろ考えているところかと思えます。

○山口義博指導推進室長

実際はこれから考えていくこととなります。学校からもいろいろ聞いていかなければいけないですし、委員会の中だけで進めるわけにもいかないの、原案は委員会の方で作ることになると思いますが、学校の方とも摺合せしていかないといけないと思います。

○國井晴彦委員

そうなってくると今まであったいろいろな講演会、PTAなどいろいろなところでやっているのと何が違うのか。趣旨をもっとはつきりして、こういう趣旨で、ということをはつきりとする必要があるのではないかと思います。

○山口義博指導推進室長

良い人生設計ができるようにという趣旨に特化しているのかなと思います。できれば寒河江に将来、戻ってきて、寒河江の良いところを触れながら生活していくというようなそういう人生設計ができるような講演やセミナーになるような形で、普段PTA等で呼

んでいらっしゃる方は、いろいろ違った趣旨で、例えばスマホの使い方等いろいろあるわけですが、ここはライフデザインということで特化して事業を進めていくということになるかと思えます。

○軽部 賢教育長

キャリア教育という点ではやったかもしれませんがこの事業で予算をとったのは自分自身の将来の設計をどうしていくかということを考えてもらうためのセミナーで、地元をもう少し活性化してほしいという願いがあるのだということを強調しながら、話をしてくださる方にもそういうことをお願いしなくてはいけないのではないのでしょうか。

○鈴木多鶴子委員

学校に任せるのではなく、学校教育課が主体となってこの事業をするということではないのでしょうか。

○山口義博指導推進室長

主体は教育委員会ですので、学校と話をしながら進めていくことになるかと思えます。

○鈴木多鶴子委員

学校ごとに行うこともありうるということですか。

○山口義博指導推進室長

ありうると思います。

○國井晴彦委員

そうなると学校ごとにいろんな方向に行ってしまうのではないかと感じてしまうのですが。この事業のシステムはきちんと学校側に伝えておかないといけないと思います。

○軽部 賢教育長

ただ予算をあげますというのではなく、この事業のために使っていただくので、きちんと趣旨を話しして、あとは講師をだれにするかとか、対象学年をどうするかとかそういったことは、こちらからこうしてくださいというのではなくて、一番効果があるような形を学校側に考えてもらわなくてはいけないと思います。そこは教育委員会が学校と話をしながらということになると思います。

○鈴木多鶴子委員

学校で開催するという流れになるのですか。

○軽部 賢教育長

そうなることもあるでしょうし、全体として開催するということもあるでしょうし、そこはこれから検討ということになります。

○鈴木淳一委員

給食の半額助成について、原案は何月ぐらいに話が出たのでしょうか。

将来的には無料化を目指しているのでしょうか、スケジュール的なものの中で来年度が半額というのは決定なのでしょうか。

○軽部 賢教育長

予算が内示されている状況ですので、議会で議決されれば決定ということになります。

○鈴木淳一委員

2年後には無料化となるのでしょうか。

○軽部 賢教育長

それはまだわかりません。来年度は半額助成だということです。行動計画ではしばらくは来年度の状況で続く計画となっています。

これは財政状況にもよるので、まず来年度は中学校半額助成というところまでということです。この件は内部でも議論いたしました。小学校を全額助成にして中学校は現状のままとすると、中学校になったら負担が増えるのはどうだろうか等、いろんな議論がありましたが、今後も無料化に向けて進めると言っているわけなので、来年度にはどう進めるかということに対しては、中学校を半額助成にするとなったところです。

○鈴木淳一委員

小学校の第3子の全額助成はなくなって、小中ともに全員半額助成となったのですか。

○軽部 賢教育長

小学校の第3子全額助成はそのまま、小学校の助成はこれまでと変更ありません。

○鈴木淳一委員

新たに中学校の半額助成が増えたということなのですね。わかりました。

○國井晴彦委員

英語力とか国際交流を踏まえて、留学などで寒河江から海外に出ていく方に対して多

少補助していただけるような仕組みは作れないのでしょうか。ロータリークラブの事業では旅費などが出ないです。寒河江高校の同窓会あたりでも旅費の助成を考えていかなければならない話にもなったので、市としても志をもって将来寒河江に帰ってきて、海外とのパイプ役を果たすかもしれない方を応援する予算というものを作れないものかと思ったところでした。

○軽部 賢教育長

昨日、ロータリークラブの小松先生がいらっしゃった時も話になりましたが、高校で国際交流制度があるという認識がなくなってきているのではないかと。まず高等学校にいろいろお願いしなければいけないのではないかと。そして、西村山の高校に入ると希望すれば海外に行けるチャンスがある、そういうアドバンテージがあるということを高校を通して子ども達にも伝える。それが高校生だけでなく、その下の子ども達に伝えることによって西村山の高校に子ども達が集まってくるというふうな動きがとれるのではないかと。もう一つは高等学校の裁量で、校長判断だと思いますが、1年間海外留学した場合、1年間、教育課程を履修したのと同様に履修したとして、そうしてプラス1年間学校にいなくともそのままでよいといったところも検討してもらえればという話にもなりました。これは中学校でもできないのですかともなりましたが、義務教育ですので1年間は無理なのですが、中学校の時、治安のいい台湾に行って英語をしゃべるとかそういうのをやって、ホームステイなので滞在費はロータリーが持つということになるのでしょうか、行き帰りの旅費は自費になるので、そこを少しでも補助ができればもっと行きやすくなるのではないかと。そこは事務局で検討して行って、グローバル社会への対応ということにもなるのではないのでしょうか。インバウンド対応にもなるし、いろいろなところで交流も活発になるのではないのでしょうか。県などでもやっているようです。台湾のロータリーからもこの前こちらにやってきて、交流しているわけなのでそういったところは教育委員会でも考えなくてはいけないと思います。

○軽部 賢教育長

その他、ご意見ご質問等ございませんでしょうか。それではいろいろご質問いただきましたが、その他なければ採決をしたいと思います。

議第2号平成31年度教育費予算案に対する意見の申出について原案のとおり決定することに意義はございませんか。

(一同、異議がない旨の返答)

では異議なしということで、議第2号は、原案のとおり決定いたしました。

提案されている議案は以上になりますが、委員のみなさんから他にございますか。

なければ以上で教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

5 閉 会 午後3時42分